

第81回新生ふくしま復興推進本部会議 議事録

■ 日時：平成30年4月23日（月）9：10～9：25

■ 場所：特別室（本庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議を開催いたします。

早速、議題の「風評・風化対策強化戦略【第3版】（案）」について、風評・風化対策監。

【風評・風化対策監】

風評・風化対策強化戦略〔第3版〕（案）について説明いたします。

資料1-1を御覧ください。第3版においては、一番上に記載しているとおり、2020年度（平成32年度）での目指すべき姿を「新たな復興のステージへ向かう”ふくしま”の新たなイメージの創出、ふくしまブランドの再生・構築」として掲げました。

そのために、特に取り組むべき分野である「県産品」・「観光」・「情報発信」・「教育旅行」の4つについて、これまでの成果・実績、課題を整理し、回復している部分と震災前の水準まで戻っていない部分を明確にした上で、更なる対策を講じていくこととしております。

対策強化の方向性としては、資料の一番下に記載のとおり①ターゲットを意識②より伝わる発信③企業や国、市町村、関係部局等との連携強化そして、第2版で掲げた④困難な課題の克服、新たな取組にチャレンジを続ける「果敢に挑む」を加え、第3版では、⑤これまでの方向性で粘り強く取り組み続けることで「共感・共鳴」の輪を広げ、更にそこから福島に心を寄せる方々と風評払拭・風化防止に向け一緒に行動する「共働」へとステップを進めるとともに、より「届く」心に響く発信に努めていくこととしております。

国においても昨年12月「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」を定めており、連携を強化しながら取り組んでいくことといたします。

2枚目の資料1-2は、特に強化すべき取組をそれぞれの分野ごとにまとめたものになります。赤字が第3版において変更したものや新たに加えた部分で、県産品のパッケージング改善やホープツーリズムの更なる推進、企業等との共働による情報発信などに力を入れてまいります。

3枚目、4枚目（資料1-3）は各分野の指針となる成果や取組内容の詳細

になりますので、後ほど御覧ください。

5枚目、6枚目（資料1-4）は、風評・風化対策の土台の取組となる放射線に関するリスクコミュニケーション、環境回復や食品の検査などの具体的な取組です。

特に、放射線リスクコミュニケーションについては、新たな工夫の方向性などを盛り込み、正確な情報と知識の普及に努めてまいります。

最後の7枚目（資料1-5）は関連事業の年間スケジュールを一覧にしたものです。本戦略をもとに、今年度も各部局と連携を図り、風評払拭・風化防止に取り組んでまいります。

説明は以上です。

【鈴木副知事】

他に意見はありませんか。なければ、原案のとおり決定することといたします。

知事からお願いいたします。

【知事】

「風評・風化対策強化戦略【第3版】」が作成されました。非常に重要な戦略であり福島が復興再生を進めていく上で、欠かせない戦略であります。

是非この内容に沿って、各部局が一つ一つの策をしっかりと構築してください。その際、重要な視点を2つお話ししたいと思います。

1点目は、TPOです。タイム、プレイス、オケーション。それぞれの状況で、すべて異なります。同じ内容を伝えると言っても、タイミング、相手、状況によって伝え方が変わる。一本調子の伝え方では相手に届かないというTPOを念頭に置いていただきたいと思います。

2点目の大切なことは、自分たちが何を届けたいかという心の思いをどのように伝えたいか。つまり「シンカ」であります。進める「進化」、深める「深化」、新しくする「新化」、伝えたい情報を常に「シンカ」させながらTPOに応じて発信していく。それを新年度の一年間継続していくことで、この強化戦略がより形になり生きてくると思いますので、「TPO」と「シンカ」の2点を念頭に置きながら取り組んでいただきたいと思います。

【鈴木副知事】

次に、報告事項「福島県復興計画（第3次）別冊（平成30年度版）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

復興計画（第3次）の別冊として平成30年度版を取りまとめました。

この「別冊」は毎年度作成しておりますが、復興計画の10の重点プロジェクト、それから人口減少・高齢化対策の合わせて計11の重点プロジェクトごとに、各取組を進めるための主な事業や予算額を入れて整理し、一覧できるようにしております。

御活用いただければと思います。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。

以上で推進本部会議を閉じます。